

町長日記



能登半島地震について

早いもので、年が明けてもう2月になりました。

今年の初日、元旦の午後4時過ぎ、携帯電話がけたたましく鳴り、なにかなと見ると、能登半島で震度7の地震、北海道から九州にかけて津波注意報、津波警報、さらに、石川県には大津波警報が発令されていて、家に帰ってテレビをつけると石川県、特に能登半島を中心に大変な被害状況が報道されていました。

この災害でお亡くなりになられた方に心からお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々にはお見舞い申し上げます。また、1日も早い復興を祈念申し上げます。

今も避難生活をされている方がたくさん居られ、不自由な生活を余儀なくされています。由良町役場では、1月4日から能登半島地震の募金箱を1階ロビーに設置しています。皆さんの温かいご支援をよろしく願います。

同じく半島に住む我々にとっても、明日は我が身です。南海トラフ地震、それに伴う津波。被害は甚大なものになると予想されます。能登半島地震では、住宅が倒壊し、1階部分が押しつぶされ、多くの方がお亡くなりになりました。改めて耐震化の重要性を認識しました。

みなさん、今一度住居の耐震を見直してみませんか。

由良町長 山名 実